

北海道大学大学院農学院の入学者受け入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

大学院農学院では「生物圏に立脚した生存基盤の確立を通して人類の持続的繁栄に貢献する」ことを究極の目標とし、食料生産、環境、食品製造・流通・利用、それらを支える基礎生物科学を対象に基盤科学から実用技術化までの幅広い世界的な研究を展開している。これらを実現するために、本学院は以下のような人材を求める。

■修士課程

1. 農学及び関連領域における基礎的専門知識と、さらにそれらを深く理解するための意欲を有する人材
2. 研究課題に主体的に取り組み、国内外の情報を活用でき、課題解決のための実践力、論理的思考能力を持つ人材
3. 農学領域の基礎的専門知識と研究成果を、理論的にかつ明確に伝達し、議論できる能力を有する人材

■博士後期課程

1. 人類の生存及び持続的発展に資する基盤的学問としての農学の意義を理解し、国際情勢や課題を広い視野によって俯瞰できる能力を持つ人材
2. 各研究分野に関する先端的専門知識を十分に有し、独立した研究者としての基盤的能力である仮説設定能力を有し、独創的研究を遂行できる能力を持つ人材
3. 先端的専門知識と研究成果を、日本語及び英語により、理論的にかつ明確に伝達し、議論できる能力を持つ人材

従って、入学する学生には、下記基本方針に定める内容を十分に修得していることが期待される。

・入学者選抜の基本方針

■修士課程

一般入試：学科試験（外国語（TOEIC 等スコア）及び専門科目）、面接及び出身大学等の長から提出される成績により専門分野の知識と意欲などを評価し、総合的に可否を判定する。

■博士後期課程

一般入試：学科試験（外国語（TOEIC 等スコア）及び専門科目）、面接、修士学位論文及び出

身大学等の長から提出される成績により専門分野の知識と意欲などを評価し、総合的に合否を判定する。

社会人入試：出願書類（研究計画書，研究業績等調書，証明書等）により，基礎資格などについて審査を行い，出願資格を有する者について，口述試験（研究業績等調書にとる専攻分野に関する諮問）により専門分野の知識と意欲などを評価し，総合的に合否を判定する。ただし，志望コースが必要と認めるときは，専門科目の学科試験及び外国語試験を課すことがある。